

テーマ1【休憩機能】

道の駅を

「魅力的で人が集まる休憩の場に」するには

- 大型駐車スペースがほしい(右折レーンが必要)(15)
- 焼きたてパンの提供(地場産品の使用、匂いで人をひきつける)(6)
- 安平の特産品を販売する(農産物、スイーツなど)(1)
- 宿泊できるような広い駐車スペースがあると良い(車内で長時間滞在)(8)
- 大型運転手がリラックスタイムできる温泉(シャワー施設)があると良い(オートキャンプ場等)(3)
- 広いスペースがほしい!(スポーツ施設や芝生の整備)(1)
- 夕日、池、牧場、美しい花が眺める展望スペースがほしい(花はゼツタイ!食事後も居れるように)(10)
- 写真マニア(特にSL)が写真等を自由に展示できるギャラリー(通路でも良い)があると良い(4)
- 子どもたちが自由に遊べる空間(木のおもちゃ、室内なら冬も集まる、広い空間は災害時に避難場所に、動くミニSL、水遊びができる公園)(26)
- 子どもが遊べるアトラクションがあると良い(そりすべりや芝生でピクニック)(10)
- ガソリンスタンドと整備のできるお店を(電気自動車の充電も)(11)
- お祭りイベントを開催できるステージを(地域・季節限定販売所もできる)(8)
- 美味しい食事ができる場所を作る(ソフトクリーム・だんご等、地元のお母さんなど地域の人が交代で運営)(4)

テーマ2【情報発信機能】

道の駅を

「安平町を知ってもらう情報発信の場に」するには

- 道の駅に来た人が一目で簡単にわかる情報提供(みどころ、ホームページ)(6)
- ケータイ(Facebook)テレビ(データ放送)等で発信(ちょっと知っている人にはもっと知ってもらう)(5)
- この道の駅に来ると美味しいものがあるというイメージをつくる(1)
- 安平町の道の駅そのものの情報を発信する(こんな道の駅ですよ~!)(1)
- (ボランティアによる)街の歴史や名所の紹介があればいい(SL、木造サイロ、チーズ発祥の地)(13)
- 特産品の紹介と特産品を使った調理レシピの方法などの情報提供(実は町民も特産品を知らない)(2)
- (パネル写真やパンフレットで)安平町らしい風景を紹介できる施設になればいい(牧場や夕日、菜の花など)(9)
- 空港や港で安平町ブースを作ってPRする(町外での道の駅PR)(7)
- 夏は菜の花、赤いひまわり、冬は雪をテーマに!(交通便利を活かしたツアー受入等)(9)
- 北海道出身の有名人に「宣伝大使」になってもらう(TVラジオへの露出)(1)
- 空港と大都市への近さ・交通の便の良さをPR(都会のすぐ横にあるド田舎)(4)
- 国道から見える体験型(SLや馬)道の駅に(インパクトあるネーミング・ゆるキャラ)(14)
- 馬の情報を発信しよう(馬グッズ等)×2件(2+9)
- 特産品に冠を!『安平』ネームをつける(ブランドシール、看板メニューの開発)(7)
- 高速インターチェンジの名前を安平町にする(いつまでも旧町名で認識されてしまう)(8)
- 日本一、オンリーワンのために馬のモニュメントを作る(話題性ができる)(5)
- ライブカメラで町の旬な情報を流す(10)
- 一目で安平町だとわかるインパクトある道の駅(競馬速報が流れる、動くSL、足湯)(9)

フォーラムで出された 提案内容の行方は?

グループ討議が終わった後、参加者からは「みんなが出した提案はこの後どうなるの?」「意見取り入れてもらえるの?」という声も聞きました。町民参画推進条例では、町民から意見を聴くだけではなく、これらを可能な限り、町政へ反映させなければ意味がないものと考えています。

今回のフォーラムで提案された意見は、その後行った役場内の協議で、「すぐに道の駅の計画に取り入れるべきもの」「道の駅ではなく、町のほかの施策に反映した方が、効果が出るもの」などに分類。道の駅に関係した「すぐに道の駅の計画に取り入れるべきもの」は、現在策定中の建設基本設計に反映できるよう、委託先のコンサルタンツ会社と協議を進めています(分類の詳細は、安平町ホームページをご覧ください)。